

「新日本石油グループ CSRレポート2005」の発行について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、この度、当社グループのCSR活動への取り組みをまとめた「[新日本石油グループ CSRレポート2005](#)」を発行いたしましたのでお知らせします。

当社は、2000年に「環境報告書」を発行し、2003年からは「社会環境報告書」として従来の「環境」に関する取り組みに加え、「経済」および「社会」に関する報告も行ってきました。今般、これらの取り組みを包含するCSR(企業の社会的責任)の実践を企業経営の根幹と位置付けた上、当社グループの多面的な取り組みをよりご理解いただけるよう、名称を「CSRレポート」と改め発行することといたしました。

本レポートでは、まずトップコミットメントとして「サステナブル(持続可能)な社会の創造に向けて、環境にやさしいエネルギーを供給し続けること」を約束し、続いて当社グループのCSR活動重点6分野(「コンプライアンス」「人間尊重」「情報セキュリティ」「社会貢献」「環境安全」「品質保証」)を切り口に各分野におけるCSRに関する方針、推進体制および取り組みを報告しております。また、お客様との接点であるサービスステーションにおけるCSRの取り組みと、ステークホルダーコメントを反映した当社グループの取り組みについても掲載しております。

当社グループは、「地球環境との調和を尊重し、総合エネルギー企業グループとしてのグローバルな活動を通じて、お客様ひとりひとりに満足をお届けし、広く社会に貢献する企業グループであり続けること」を社会的責任と考え、ステークホルダーの皆様から最も信頼される企業グループの確立を目指し、今後も、CSRの取り組みに関する情報開示・説明責任を果たしてまいります。



以上

「新日本石油グループ CSRレポート2005」の特徴

1. トップコミットメント

- ・「ひとりひとりが経営理念を誠実に実践することを通じて、社会に対する責任を着実に果たし、あらゆるステークホルダー(利害関係者)から信頼される企業グループの確立を目指すこと」を基本方針に掲げて、これからもCSRを果たしていくことを、当社グループのCSRに対する考え方として紹介。
- ・CSR経営の究極的な目的「サステナブル(持続可能)な社会の創造に向けて、環境にやさしいエネルギーを供給し続けること」を約束。

2. CSR活動重点6分野に対応したページ構成

- ・CSR活動重点6分野(「コンプライアンス」「人間尊重」「情報セキュリティ」「社会貢献」「環境安全」「品質保証」)を切り口にレポートを構成し、各分野におけるCSRに関する方針、推進体制および取り組みを報告。

3. ENEOSブランドのサービスステーションにおけるCSRの取り組みを紹介

- ・お客様との接点であるサービスステーションにおけるCSRの取り組みについて、「社会環境報告書2004」での「環境」面のみの内容から、上記のCSR活動重点6分野すべてに拡大して紹介。

(見開き2ページにわたってイラストともに掲載)。

4. ステークホルダーコメントを反映した取り組みを報告

・ステークホルダーとの継続的な対話を意識し、ステークホルダーからのコメントを反映した当社グループの事業やCSR活動の取り組みについて報告。